

## 日米台議員による戦略対話 スピーチ

日華議員懇談会 会長 古屋圭司

### <はじめに>

米国国会議員の皆様、台湾立法委員の皆様、日本最大の超党派国会議員連盟「日華議員懇談会」の会長を務めている古屋圭司です。

今日の「日米台議員による戦略対話」の開催においては、米国、台湾の関係者各位のご理解・ご協力を頂いて実現することができました。

主催者である日華議員懇談会会長として、心より感謝申し上げます。

この日米台議員外交の構想は、日華議員懇談会の活動方針の最重要テーマとして、かねてより目標としていたものです。

2020年1月、蔡英文総統の再選直後、私は台湾を訪問し、蔡英文総統に直接依頼し、賛同頂きました。また、AITのクリステンセン当時の代表と意見交換し、支持を頂きました。

そして、昨年5月20日の総統就任式典に合わせ開催を目指していましたが、コロナにより開催延期となりました。

游（ゆう）しゃっこん会長の台日交流聯誼（れんぎ）会とは、カウンターパートナーとして共に歩んできました。そして、この戦略対話に多大なるご協力を頂きました。

今年の日華議員懇談会総会には、初めて米国大使館よりヒル首席公使に出席を頂きました。近年、日米台の交流が活発化し、この日米台議員による戦略対話開催の機運が高まりました。

本日は、日本を代表して、超党派「日華議員懇談会」の各党を代表する役員がスピーチを行います。

### <日華議員懇談会>

1972年に日本と台湾は国交断交しました。

その翌年、1973年に「日華議員懇談会」は日本と台湾の関係強化を目的に、設立されました。

以来、私たちは、台湾との積極的な議員外交を行ってきました。

その活動は、政治、経済、文化、観光分野をはじめ多岐にわたります。

毎年、国慶双十節の際は世界最大規模の祝賀訪問団を結成し式典へ参列し、一昨年は、総統府前のパレードに直接参加し、日台友好の横断幕を掲げ行進しました。また、4年に一度の総統就任式典にも参列しています。

台北国立故宮博物院の日本での展覧会実現のための法整備を行い、アジアではじめての展覧会を開催しました。その際には、あのツタンカーメン展を超える80万人が見に来ました。

日華議員懇談会は、台湾のWHOオブザーバー参加をはじめ、国際機関への参加支持を表明しています。

昨年、李登輝元総統がご逝去された際は、弔問団を結成し、コロナ禍、台湾の特別なご配慮の元、台湾を訪問しました。

また、大地震をはじめとする自然災害発生時には、義捐金による支援を行って参りました。

昨年4月には、日本で不足していたN95マスク200万枚を、台湾は日華議員懇談会を通じて、支援して頂きました。また、その後は防護服5万着の支援も頂き、日本全国から感謝の声が多く上がりました。

まさに古き良き友人として、台湾と共に歩んで参りました。

### <共に助け合う真の友人>

本年、台湾に大きな2つの危機がありました。

パイナップルとワクチンです。

3月、中国が突如台湾からの輸出量の97%を占めるパイナップルの輸入禁止を発表しました。

日本では、すぐに台湾のパイナップルを購入して助けようという動きが自然発生的に起こりました。以来、ほとんど見かけることのなかった台湾産パイナップルは、全国どこのスーパーでも見かけるようになりました。

2020年に2000tの輸入量だった台湾パイナップルは、2021年はその10倍に達する予測もあります。

見事にコロナをおさえこんでいた台湾は、5月には感染拡大の危機におそわれました。

日本では、ワクチン支援準備を水面下で進めました。

中国の妨害を避ける為です。

台湾から昨年支援を頂いたN95マスク・防護服は、日本にとって本当にありがたい支援でしたので、何とか恩返しをしたいという関係者の想いをひとつに早期実現を目指しました。

結果として、5月中旬に頂いた要請後、6月4日に第1弾の124万回分、7月8日に第2弾の113万回分、7月15日に第3弾の97万回分のワクチン支援を実現し、台湾から要請のあった300万回分以上の支援を達成し、台湾が確保したワクチンの1/3を占める割合を支援することができました。

米国も、250万回分のワクチン支援をしています。

コロナというピンチをチャンスに変えるべく、日本、米国、台湾の新たな連携ができた象徴的な出来事でした。

いずれも中国による圧力が共通するものです。

困った時に助けるのが真の友人です。

#### <日本が求められる役割>

近年、中国国防費の急増や「国防法」「武警法」「海警法」改正のように、中国の力による一方的な現状変更は、まさに常軌を逸したものです。

日本、台湾のみならず、アジア太平洋地域、そして世界の共通の価値観を持つ国々の大きな懸念材料となっています。

私が所属する自由民主党では、台湾政策の提言を本年策定しました。

提言の主なポイントは次の通りです。

後程、自民党を代表して山本順三議員が、詳細について話します。

- 米国をはじめとするG7等の国々と連携し、台湾と国交を有する、また友好国への戦略的支援を行うこと。
- WHOをはじめとする国際機関への台湾の参加を実現し、国際社会において、台湾の知見・経験を発揮していただくこと。
- 日米台による安全保障対話のプラットフォーム構築のため、現実的な一歩を踏み出すこと。例えば、日本の自衛隊、米国、台湾の海軍の音楽隊による

文化的行事を行い、緊張を高めることなく、交流の実績を積み上げること。  
・経済安全保障の観点から、半導体をはじめとするIT関連産業のサプライチェーン構築を目指すこと。

以上は、代表的な例ですが、短期的、中長期的政策について、我々は引き続き検討を重ね、現実的かつ実効性のある取り組みをしてまいります。

<さいごに>

来年は、日本と台湾が断交して50年、再来年には、日華議員懇談会設立50年を迎えます。

私たちは、半世紀にわたりこれまで構築してきた日本と台湾の絆をより強固にし、この信頼という力を生かし、次の50年に繋がる取り組みを引き続き行ってまいります。

ここで、防衛大臣を務めているため本日出席が叶いませんでした、日華議員懇談会の岸信夫幹事長からメッセージを預かっていますので、読上げさせていただきます。

日華議員懇談会 幹事長 岸信夫です。

このたびの日米台議員による戦略フォーラムの開催、心よりお喜び申し上げます。

この対話については、前々より日華議員懇談会にとって重要課題の1つとして活動して参りましたところ、今回の開催にあたり古屋圭司日華議員懇談会会長をはじめ日本、米国、台湾の多くの関係者の多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

地域の安全保障環境が厳しさを増す中、我が国においても台湾への関心が高まっており、先般の日米首脳会談では、日米首脳共同声明において「日米両国が台湾海峡の平和と安定の重要性を強調するとともに、兩岸問題の平和的解決を促す」とされたところ です。

また、本年度の日本の防衛白書では、台湾をめぐる情勢の安定は、我が国の安全保障にとってはもとより、国際社会の安定にとっても重要である旨記され

ています。

このように安全保障面での注目が集まる中、本フォーラムのような議論の場もまた重要度を増しています。

日米台戦略フォーラムの役割が国際社会での新しい位置づけとなるよう、有効な実績を積み上げていく必要がありますので、是非多くの皆様の積極的なご参加をお願いしたいと存じます。

共に世界の平和と安定を目指し、友好を深め、強固な絆で中長期的に継続していくことができる素晴らしい対話になることを期待しています。

今日は記念すべき日となりました。

日本とアメリカ・台湾の議員による戦略対話を継続的に進め、自由、民主主義、法の支配といった共通の基本的価値観を尊重する国々と連携し、平和と安定のために、私たちの絆を強固にして共に歩んでいきましょう。

ありがとうございました。Thank you、謝謝。

終了。